

今週（8月22日から8月26日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、積み前半という事もあり、週を通して落ち着いた展開となった。  
日銀当座預金残高は引き続き300兆円前後で推移した。無担保コールO/N物は、投信・地銀業態のオファーに対して銀行・証券業態のビッドが中心となり、22日から25日までは▲0.06～▲0.03%と幅広いレンジの出会いとなった。26日は週末要因から▲0.055～▲0.02%の出会いと、若干上昇した。週を通して地銀業態の試し取りが複数散見されたものの、全般的には調達ニーズが然程強くない、加重平均レートは若干の低下基調となっていた。ターム物は1W物を中心に地銀業態の▲0.03～▲0.02%の出会いが散見された。期越え物に関しては特段目立った出会いは見られなかった。  
固定金利方式の共通担保資金供給オペは、25日に2W・8,000億円がオファーされ、応札額1,891億円(期落ち額1,941億円)と札割れとなった。

●レポ市場

今週のGC O/N物は、概ね▲0.095～▲0.085%程度の水準で推移した。22日～24日までのS/Nは▲0.095～▲0.085%程度のレンジで出会い。25日のS/N(8/29-8/30)は、短国の発行要因から若干レートを切り上げ、▲0.085～▲0.080%程度で推移した。26日のS/N(8/30-8/31)は、短国・利国の買入オペが通知された影響から▲0.095～▲0.090%程度までレートを切り下げた。  
SC個別銘柄では、10年336～342、20年154～157、30年48～51、40年9などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、週を通して材料が少なく、閑散な地合いが続いた。  
25日には3M物の入札が実施された。WI取引では▲0.25～▲0.245%とやや強めの水準で出合っていたものの、平均落札利回▲0.2280%、按分落札利回▲0.2104%と概ね事前予想通りの無難な結果となった。セカンダリーでは、▲0.24～▲0.235%の出会いが見られた。  
26日には、短国買入オペが事前予想の下限である1兆円でオファーされた。在庫が少ないためか、応札は1兆5,211億円と少なく、平均利回較差+0.001% 按分利回較差▲0.006%と、しっかりした結果となった。

●CP市場

今週のCP市場は、夏季休暇が明けたことで、五・十日の発行を中心に複数業態から大型案件が見られた。機械、ノンバンク、電気機器等の業態からは400億円超とまとまった額の発行があり、償還総額4,500億円程度に対して、発行総額6,400億円弱と、発行超となった。  
発行レートについては、大部分が0%近辺で推移する展開は変わらないものの、期間の短い物、残高が積みあがっている物では、一部にレートが上昇する動きが見られた。その一方、期間の長い物では、マイナス金利での決着も僅かながら見られた。9月末残高の大幅減少が予想される中、9月末の残高確保の動きと考えられる。  
26日にはCP等買入オペが3,500億円でオファーされた。業者の入替ニーズが強く、平均落札レート0.000%・按分落札レート▲0.001%と、按分・平均共に前回と同様の結果となった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/22 (月)	16,598.19	△ 0.075	100.76	△ 0.045	△ 0.088	2,992,400
8/23 (火)	16,497.36	△ 0.095	100.13	△ 0.046	△ 0.089	3,031,900
8/24 (水)	16,597.30	△ 0.085	100.35	△ 0.047	△ 0.088	3,028,900
8/25 (木)	16,555.95	△ 0.090	100.45	△ 0.047	△ 0.088	3,016,400
8/26 (金)	16,360.71	△ 0.075	100.45	△ 0.044	△ 0.087	3,027,800

## 来週（8月29日から9月2日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
8/29 (月)					7月の米個人所得・消費支出 英国休日(Summer Bank Holiday)
8/30 (火)	7月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 7月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 7月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 7月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50)	2Y 23,000億円 9/15発行	交付税借入 10,500億円 9/7借入		6月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 8月の米CB消費者信頼感指数
8/31 (水)	新潟県金融経済懇談会にて布野審議委員講演 7月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 7月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)				8月のシカゴPM景況感指数 8月のユーロ圏消費者物価指数速報値
9/1 (木)	4-6月期の法人企業統計調査季報(財務省 8:50)	TB3M 44,000億円 9/5発行	10Y 24,000億円 9/20発行	交付税借入 10,500億円 9/9借入	7月の米建設支出 8月のISM 製造業景況指数
9/2 (金)	8月のマネタリーベース(日銀 8:50) 8月の消費動向調査(内閣府 14:00) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)				7月の米貿易収支 7月の米製造業新規受注・出荷・在庫 8月の米雇用統計

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/29 (月)	0	▲ 19,800	▲ 19,800	全店共通 CP買入 国債補充	▲ 1,900 ▲ 500 500	1,900	0	▲ 19,800	TB3M発行▲44000償還33800 流動性供給▲5000
8/30 (火)	0	2,000	2,000	国債買入 短国買入		5,300 10,000	15,300	17,300	
8/31 (水)	▲ 1,200	▲ 1,500	▲ 2,700	CP買入		3,500	3,500	800	交付税借入▲10500期日10500
9/1 (木)	0	▲ 9,000	▲ 9,000				0	▲ 9,000	財政融資資金の回収
9/2 (金)	1,000	▲ 11,000	▲ 10,000	成長基盤	▲ 1,200		▲ 1,200	▲ 11,200	年金保険料揚げ 法人税・消費税揚げ 普通交付税 交付税借入▲10500期日10500
週間合計	▲ 200	▲ 39,300	▲ 39,500	—	▲ 3,100	20,700	17,600	▲ 21,900	

8/29は日銀予想、8/30以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は週半ばに月末を迎え、週末の2日は法人税・年金保険料揚げや交付税の払いが予定されており、動向が注目される。

短国市場は、1日に3M物の入札が実施予定となっている。9月の短国買入オペの月間オファー額が、8月分と比べて減少すると見込まれる一方で、海外勢の買いはしっかりと入っており、入札の結果が注目される。

CP市場は、月末を迎えることで発行量の増加が期待される。発行レートは、引続き0%付近の狭いレンジで推移することが予想される。

主要なイベントとしては29日の7月の米PCE、9月2日の8月の米雇用統計などが挙げられる。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入